



令和4年2月18日

福生市長
加藤 育男 様

福生市保育協議会
会長 津島知津子

障害児および特性のある子等の

療育体制等に関する要望書

日頃より、幼児教育・保育に関しご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。またこれまでも多くのご支援をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

さて近年、幼児教育・保育の現場において障害児および特性のある子等の保育が大きな課題となっています。特に、特性のある子はいわゆる「気になる子」とも言われ明確な定義はございませんが、「なんらかの障害があるとは認定されていないが、保育者にとって保育が難しいと考えられる子ども」と言われています。多くの自治体でこうした子どもの増加が顕著にみられ、福生市においても例外ではない状況です。本市におかれては、こうした点にご理解をいただき、子育て世代包括支援センター係による巡回相談等によりご支援をいただいているところではありますが、年々厳しさが増している状況です。

特性のある子の行動上の問題が発達障害によるものか、または家庭の養育環境状況から生じているのか、あるいはその両方なのか、判断が難しいこともあり、保育方針が立てにくく、さらには保護者との問題意識の共有を図ることも難しい場合もあります。また外国にルーツをもつ子どもに関し、言葉や生活習

慣だけではなく、こうした難しいケースが多いとの報告もあります。保育の現場においては、同時に保育士等の不足の懸念が常にあり、障害児及び特性のある子等を含めた保育を行うにあたっての保育環境上の悩みも大きなものとなっています。

こうした課題の解決のために、日常的な保育の充実と子ども一人ひとりに合った適切な支援、保護者や各関係機関とのさらなる連携が必要であると考えます。子どもの健やかなる成長を心より願う私どもとしては、忍びがたい心痛と共に看過しがたい思いであり、より根本的な解決に向けた、障害児および特性のある子等の療育体制等に関する強化およびさらなる保育施設へのご支援を賜りたく下記の事項につき要望させていただきます。

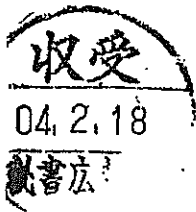
記

1. 専門的療育機関等の市内設置及び関係機関との連携強化
2. さらなる巡回相談体制の強化充実に関する支援
3. 保育スタッフ充実のためのさらなる支援

添付資料

福生市内保育園の気になる子調査（2021年1月実施）

以上



令和4年2月18日

福生市長
加藤 育男 様

福生市私立幼稚園連合
会長 涌井 弘



特別な支援を必要とする就学前の子どもたちの 幼保における療育体制のさらなる充実に関する要望書

日頃より、幼児教育・保育に関しご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。またこれまでも多くのご支援をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

さて、ご承知の通り、市内の幼児教育・保育の現場において、特別な支援を必要とする子どもたちの受け入れ、およびその子どもたちに合わせた保育に取り組んでおりますが、その人数は年々増加をしております。

現場において、保護者と保育者がお子さんの特性について共通認識を持ち、協力して保育をおこなっている事例もある一方で、残念なことですが、共通認識を持つに至らず、集団の中で何らかの不適応をおこしている事例も存在しております。少しでも早い段階でそういった子どもたちの特性に応じた保育ができれば、その子どもたちの就学後の学びにも良い影響を与えたいと思われま

す。さらに本市においては外国にルーツをもつお子さんも多く、言葉や生活文化の違いなどから「保護者との連携」には特別の工夫が必要とされます。

現在、保育士、幼稚園教諭等の人材は全国的に不足しており、そういった子どもたちへの十分な保育ができていない状況があり、子どもの健やかなる成長を心より願う私どもとしては、忍びがたい心痛と共に看過しがたい思いであり、より根本的な解決に向けた、療育体制、支援体制の強化およびさらなる保育施設へのご支援を賜りたく下記の事項につき要望させていただきます。

記

1. 専門的療育機関等の市内設置及び関係機関との連携強化
2. さらなる巡回相談体制の強化充実に関する支援
3. 保育スタッフ充実のためのさらなる支援

以上